

## 令和5年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

低学年ではきまりや活動を工夫しながら、繰り返し運動する中で友達と一緒に運動する楽しさを味わうことができた。中学年ではペアやグループでの運動を取り入れ、関わり合いながら楽しく運動学習をすることができた。高学年では自分の課題に合わせて場を工夫したり、活動を考えたりして、運動能力に関係なく体を動かすことの楽しさを味わいながら様々な動きを体験できた。

#### (2) 課題

全体的な傾向としては個人の運動経験の差、体力や体格の差による得意や苦手が顕著に表れている。特に低学年は握力や立ち幅とびの種目に課題がある。中学年はソフトボール投げ、反復横とび、上体起こしに課題がある。高学年はソフトボール投げ、反復横とびが低い傾向にある。

### 2 令和3年度体力・運動能力調査結果より～学年別の傾向と改善策について～

学年	◆特に低い傾向の測定種目	□改善策
1年生	◆握力	□鉄棒運動やうんてい、のぼり棒などを使った運動を準備運動や外遊びの中で取り入れていく。
2年生	◆立ち幅とび	□けんけんばやステップなどのリズムよく遠くに跳ぶ練習や、授業では体全体を使った大きなフォームで跳ぶことを意識させる。
3年生	◆反復横とび ◆ソフトボール投げ	□鬼ごっこやタグラグビーなど素早く走り抜けたり、左右に動いたりする俊敏性を高める遊びや運動を取り入れていく。 □ドッジボールやボールを投げる運動や活動場面を増やし、体全体を使った大きなフォームで投げられるようにする。
4年生	◆上体起こし ◆ソフトボール投げ	□ストレッチや体幹トレーニングなど、筋力を高める運動を取り入れていく。 □ドッジボールやボールを投げる運動や活動場面を増やし、体全体を使った大きなフォームで投げられるようにする。
5年生	◆反復横とび	□鬼ごっこやタグラグビーなど素早く走り抜けたり、左右に動いたりする俊敏性を高める遊びや運動を取り入れていく。
6年生	◆ソフトボール投げ ◆20mシャトルラン	□ドッジボールやボールを投げる運動や活動場面を増やし、体全体を使った大きなフォームで投げられるようにする。 □なわとび、持久走など毎回の授業で続けられる運動を取り入れていく。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り、誰とでも仲良く運動をしたりする中で意欲的に運動をする態度を養うことができるようにする。</li> </ul>

#### 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動に進んで取り組み、きまりを守る、誰とでも仲良く運動する、友達の考えを認める、場や用具の安全に留意するなどして、最後まで粘り強く運動する態度を養う。</li> <li>・コーディネーションに継続して取り組むことができるようにする。</li> </ul>

#### 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間と考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動に積極的に取り組み、約束を守る、助け合って運動する、仲間の考えや取り組みを認める、場や用具の安全に留意するなど、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。</li> <li>・コーディネーションのよさを理解し、主体的に継続して取り組むことができるようにする。</li> </ul>